

公開シンポジウム

2024 年実施選挙と政党体制

1. 主 催：日本学術会議政治学委員会民主主義の深化と退行に関する比較政治分科会、日本比較政治学会

2. 共 催：なし

3. 日 時：令和7（2025）年6月29日（日）14：00 ～ 16：00

4. 場 所：オンライン開催

5. 開催趣旨：

2024 年はアメリカや EU 議会を含め、いわゆる「選挙イヤー」として注目された。BRICS や新たに創設された BRICS の「パートナー国」でも選挙が実施され、その結果により新たな連立政権の構築が必要となるなど、従来の政党体制のあり方の変容をもたらすことにもつながった。

そこで、本企画では BRICS とその「パートナー国」である、インド、南アフリカ、そしてインドネシアの 2024 年選挙とその結果を改めて分析し、そこで観察された課題を本分科会の主要テーマである「民主主義の深化と退行」という観点に照らして比較検討を行うことを目的とする。それぞれの国の政治体制の評価については、従来からもさまざまに行われてきたが、果たして 2024 年実施の選挙は、その結果をもたらした要因を含め、何らかの変化をみることができるのか。3 事例を中心として、他地域での動向にも鑑みて比較検討したい。

6. 次 第：

14:00～14:05 開会の挨拶・趣旨説明

遠藤 貢（日本学術会議連携会員・東京大学大学院総合文化研究科教授・日本比較政治学会会員）

14:05～15:05 報告

報告1「インドネシアの事例：民主的な選挙、安定した政権交代、民主主義の後退」

川村晃一（独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所海外調査員・日本比較政治学会会員）

報告2「インドの事例：一強体制の崩壊」

上田知亮（東洋大学法学部准教授・日本比較政治学会会員）

報告3「南アフリカの事例：一党優位から連立政治へ」

牧野久美子（独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所地域研究センター主任調査研究員・日本比較政治学会理事）

15:05～15:25 討論

粕谷祐子（日本学術会議連携会員・慶應義塾大学法学部教授・日本比較政治学会会員）

馬場香織（東京大学大学院法学政治学研究科教授・日本比較政治学会理

事)

15:25～16:00 質疑応答

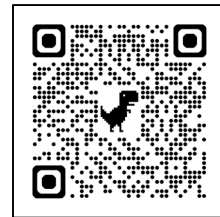
16:00 閉会

7. 申し込み：どなたでも参加いただけます。参加費無料。定員の上限は 500 名。要事前登録。登録用の参加申し込みフォームは、以下となります。

6月18日(水) 正午までに下記の WEB フォームにて事前登録をお願いいたします。

Zoom ウェビナーのアカウントの関係上、万が一定員（学会員も含む）に達した場合、登録順で決定いたします。

WEB フォーム URL: <https://forms.gle/UyUUe8hUJ1tKbMMUA>



ご登録頂いた方には、前日までに、業務渡航センターより参加するための URL をお送りいたします。参加は事前登録いただいた方に限らせていただきますので、送られた URL については、第三者に共有・拡散することのないようお願いいたします。

8. 問い合わせ先：

企画代表 東京大学大学院総合文化研究科 遠藤貢 (mitsugiendo(a)g.ecc.u-tokyo.ac.jp)

日本比較政治学会開催事務担当 東洋大学法学部 鷺田任邦 (washida(a)toyo.jp)

(a)を@にしてお送りください。